



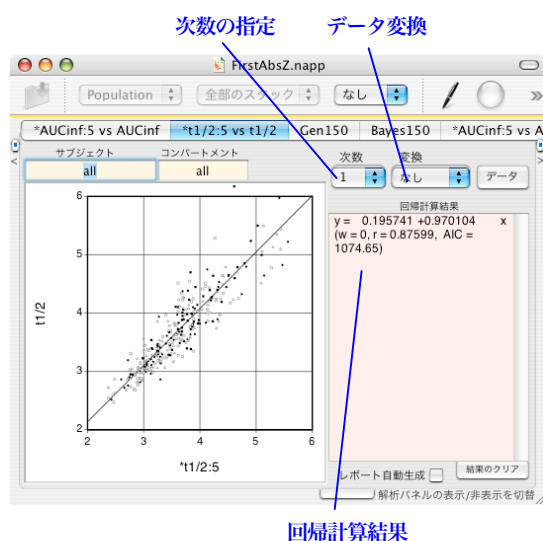
5. 線形最小二乗法解析

5.1. 線形解析パネル

線形最小二乗法の解析を行う場合はシートメニューから線形回帰シートを挿入を選択して下さい。

データを線形回帰ウィンドウのデータリストに入力して、これらの設定を行い、操作メニューあるいはツールバーからプロットを実行すると、グラフが表示されると同時に、回帰式が線形回帰シートの下部のテキスト領域に出力されます。ここで操作メニューからレポートを実行すると詳しいレポートが出力されます。回帰分析のデータの重みはツールバーで設定します。線形回帰ウィンドウの Order を指定し 1~10 次の線形回帰分析を実行することができます。また Adj に設定すると、1~10 次の線形回帰を実施し、最も AIC の小さい結果が示されます。

す。例えばここでモードを log - log に設定すると、X および Y の値はそれぞれ対数値に変換されてから線形回帰が行われます。レポートを出力すると、元の変数値に加え、変換された値も出力されます。変換には他にも逆数、Hill（ロジット）などがあり、酵素反応速度論の解析などに使えます。



注意: 線形回帰でもグラフ軸の設定を自由に片対数や両対数にすることができます。ただし、一次回帰の結果は通常のプロット上では必ず直線ですが、片対数や両対数のプロット上では曲線で示されます。データを対数変換してから直線回帰を行うには以下のデータ変換を使います。

線形回帰ウィンドウにはデータ変換機能がありま